



愛媛県立松山中央高等学校 メダカ班

愛媛県松山市井門町1220番地

泉で採集されたミナミメダカの由来を探る ～ 保全に向けて ～



泉にてミナミメダカの採集

ミナミメダカは身近でなじみ深い生物ですが、近年の環境改変の影響によりその数を減らし、絶滅危惧種に指定されている。

学校近くの泉を調査したところ、ミナミメダカのなかに体色の異なる個体が確認された。これらが野生個体かもしくは飼育品種か、その由来を解明するため遺伝的解析を行った。その結果、オレンジや黄色個体は飼育品種ヒメダカ由来の遺伝型を示し、交雑個体も確認された。このことから、泉では飼育品種の移入や野生個体との交雑が生じており、野生メダカ個体群の遺伝的特徴の損失や多様性への影響が懸念された。

ミナミメダカの保全に向けて、情報発信や啓発活動を通じて、環境問題や生物多様性への意識向上を図っていきたい。